

令和3年6月30日時点で実施されていた患者申出療養の実績報告について

令和3年度（令和2年7月1日～令和3年6月30日）実績報告より

	患者申出療養
① 患者申出療養技術数（令和3年6月30日現在）	8種類
② 患者申出療養機関数（令和3年6月30日現在）	23施設※1
③ 総金額（④+⑤）	約1.9億円
④ 保険外併用療養費の総額（保険診療分）	約1.0億円
⑤ 患者申出療養費用の総額	約1.0億円
⑥ 総金額のうち患者申出療養費用の割合（⑤／③）	50.2%

※1 1施設で複数の患者申出療養を実施している場合でも、1施設として計上している。

令和3年6月30日時点で実施されていた患者申出療養の実績報告について

令和3年度（令和2年7月1日～令和3年6月30日）実績報告等より

	患者申出療養
① 患者申出療養技術数（令和2年6月30日現在）	7種類
② 新規承認技術数	1種類
③ 保険収載技術数	—
④ 実施取り下げ技術数	—
⑤ 削除技術数	—
⑥ 患者申出療養技術数（令和3年6月30日現在）	8種類

< 過去5年間の実績 >

	実績報告 対象期間	技術数	実施医療 機関数	全患者数	総金額	保険外併用療養 費の総額 (保険診療分)	患者申出療養 の総額	全医療費のうち患者申 出療養分の割合
平成29年6月30日時点で実施され ていた患者申出療養の実績	H28.7.1～H29.6.30 (12ヵ月)	4	21施設	111人	約2.2億円	約1.6億円	約0.6億円	26.1%
平成30年6月30日時点で実施され ていた患者申出療養の実績	H29.7.1～H30.6.30 (12ヵ月)	4	23施設	84人	約2.3億円	約1.6億円	約0.7億円	32.2%
令和元年6月30日時点で実施され ていた患者申出療養の実績	H30.7.1～R1.6.30 (12ヵ月)	7	24施設	38人	約0.5億円	約0.3億円	約0.2億円	41.4%
令和2年6月30日時点で実施され ていた患者申出療養の実績	R1.7.1～R2.6.30 (12ヵ月)	7	21施設	78人	約0.6億円	約0.3億円	約0.3億円	52.4%
令和3年6月30日時点で実施され ていた患者申出療養の実績	R2.7.1～R3.6.30 (12ヵ月)	8	23施設	208人	約1.9億円	約1.0億円	約1.0億円	50.2%

令和3年度(令和2年7月1日～令和3年6月30日)の患者申出療養の費用

告示番号	患者申出療養技術名 (適応症)	開始年月日	総合計 (円)	患者申出療養 費用の総額 (円)	平均 入院期間 (日)	実施件数 (件)	1件あたりの 患者申出療養費用 (円)	実施 医療機関数 (機関数)
1	パクリタキセル腹腔内投与及び静脈内投与並びにS-1内服併用療法 (腹膜播種又は進行性胃がん)	平28. 10. 14	13,644,189	3,181,548	17.3	10	318,155	7
2	耳介後部コネクターを用いた植込み型補助人工心臓による療法 (重症心不全)	平29. 3. 3	-	-	-	0	-	-
3	リツキシマブ静脈内投与療法 (難治性天疱瘡)	平29. 5. 2	6,412,030	5,880,948	2.3	4	1,470,237	1
4	インフィグラチニブ経口投与療法 (進行固形がん)	平30. 12. 14	529,340	348,000	-	1	348,000	1
5	経皮的乳がんラジオ波焼灼療法 (早期乳がん)	平31. 3. 6	21,586,279	11,695,056	4.6	29	403,278	7
6	マルチプレックス遺伝子パネル検査による遺伝子プロファイリングに基づく分子標的治療 (根治切除が不可能な進行固形がん)	令1. 10. 1	145,945,560	73,127,629	7.2	162	451,405	11
7	トラスツズマブ エムタンシン 静脈内投与療法 (乳房外パジェット病)	令2. 6. 19	2,590,074	2,588,064	-	1	2,588,064	1
8	エストレクチニブ経口投与療法 (脳腫瘍)	令2. 7. 21	3,606,440	776,000	46.0	1	776,000	1
合 計			194,313,912	97,597,245		208	6,355,139	29

令和3年度(令和2年7月1日～令和3年6月30日)の患者申出療養の
開始年月日、終了予定日、協力医療機関数及び年間実施件数

告示 番号	患者申出療養技術名 (適応症)	臨床研究中核病院名	開始年月日	終了予定日	協力医療 機関数	年間実施件数 (令和2年7月～令 和3年6月までの 実績)
1	パクリタキセル腹腔内投与及び静脈内投与並びに S-1内服併用療法 (腹膜播種又は進行性胃がん)	東京大学医学部附属病院	平28. 10. 14	令4. 10. 14	8	10
2	耳介後部コネクターを用いた植込み型補助人工心 臓による療法 (重症心不全)	大阪大学医学部附属病院	平29. 3. 3	令3. 12. 31	-	0
3	リツキシマブ静脈内投与療法 (難治性天疱瘡)	慶應義塾大学病院	平29. 5. 2	令5. 3. 31	-	4
4	インフィグラチニブ経口投与療法 (進行固形がん)	名古屋大学医学部附属病院	平30. 12. 14	令7. 6. 12	-	1
5	経皮的乳がんラジオ波焼灼療法 (早期乳がん)	国立がん研究センター中央病院	平31. 3. 6	令8. 2. 28	6	29
6	マルチプレックス遺伝子パネル検査による遺伝子 プロファイリングに基づく分子標的治療 (根治切除が不可能な進行固形がん)	国立がん研究センター中央病院	令1. 10. 1	令10. 8. 31	11	162
7	トラスツズマブ エムタンシン 静脈内投与療法 (乳房外パジェット病)	慶應義塾大学病院	令2. 6. 19	令7. 3. 31	-	1
8	エストレクチニブ経口投与療法 (脳腫瘍)	名古屋大学医学部附属病院	令2. 7. 21	令9. 1. 20	-	1

※ 終了予定日は、実施計画の変更状況等の反映を踏まえ、今後変更する可能性がある。

1年間(令和2年7月1日～令和3年6月30日)の実施件数が
0件である患者申出療養技術に係る医療機関の今後の対応方針等

告示 番号	技術名	臨床研究中核病院名	実施医療機関名	0件の理由	医療機関の今後の対応方針	(参考) 昨年度の実績 (実施可能であるすべての 医療機関の実績)
2	耳介後部コネクターを用いた 植込み型補助人工心臓による 療法	大阪大学医学部附属病院	大阪大学医学部附属病院	2例死亡症例があり研究を一旦中止し、令和2年2月 26日に研究再開となった。再開後、現時点で該当す る症例は無いため。実施件数は0件となっている。	研究再開にあたり変更した選択除外基準を満たす患者選定を進 め、研究を実施する予定である。 ※第29回患者申出療養評価会議において、取り下げを報告済み	0件